

2022年11月リニューアルオープン！「トレインチ自由が丘」は自由が丘で過ごす人の ライフスタイルをより豊かに彩る複合施設に生まれ変わります

東急株式会社

当社は、「トレインチ自由が丘」(以下、本施設)を、施設の老朽化に伴い2022年11月にリニューアルオープンします。本施設は、2006年に大井町線「自由が丘」駅付近の大井町線車庫跡地に開業した商業施設で、リニューアル後は、1階が商業店舗8店舗、2階がまちに開かれたラウンジなどで構成される複合施設に生まれ変わります。

本施設のコンセプトは、「自然と過ごす、街の“あいま”で」とし、個性豊かな店舗が立ち並び賑やかな自由が丘周辺エリアにおいて、緑豊かな屋外空間と居心地の良いラウンジで“自然と”過ごせる場所へとリニューアルします。自由が丘で暮らす方の日常の延長として、また、自由が丘を訪れる方が楽しめる場として、自分らしく、自由な時間の過ごし方を提案します。

リニューアルのポイント

・1階「OUTDOOR CO-LIVING」

飲食店、食物販店、雑貨店など、新規出店の4店舗を含む、個性豊かな8店舗が出店します。テイクアウトフードの販売、本施設共用部におけるマルシェや参加型のワークショップを定期的に行うなど、お客さまが自宅リビングのように自然体でくつろげ、かつ屋外空間を楽しめる取り組みを行います。

・2階「(tefu)Jiyugaoka」

2階部分には、UDS株式会社が企画・設計・運営する、ラウンジ、カフェ、オフィス、レンタルスタジオを併設する「(tefu)jiyugaoka」が開業します。ラウンジ、オフィスでは個人向けに、ドロップインや個室ブース利用など用途に応じて柔軟に選択できるさまざまなプランを提供します。また、自由が丘で過ごす学生、親子、シニア層などの幅広い世代が気軽に立ち寄り、仕事、勉強、読書など、思い思いの形で利用できる、まちに開かれた居場所を目指します。

そのほか、イベントやワークショップなど多目的に利用できるレンタルスタジオを併設、コーヒー専門店「Raw Sugar Roast」の小田政志氏が手掛けるカフェが出店し、日中はハンドドリップコーヒー、夜はクラフトビールや自然派ワインなどを提供します。ドリンクを片手に利用者同士が語り、緩やかなつながりが生まれる機会を創出します。

ラウンジの内装には、田園都市線8500系車両の網棚や車体外装、枕木などを取り入れることで、車庫であった時の面影を残しつつ、開放的で居心地の良い空間を目指します。

なお、本日8月18日より月額固定料金でご利用いただける個室ブース、固定デスクの会員募集を開始します。

・屋外ランドスケープ

遊歩道のランドスケープデザイン及び環境演出は、プラントハンター・西畠清順氏が率いる、そら植物園株式会社が手掛けています。2020年に閉館した商業施設「代々木VILLAGE by kurkku」で撤去された植栽を再利用したほか、入口付近にはエゴノキの通り抜けなどを創出しました。季節の移ろいと共に多様な表情を見せる植栽で本施設を彩ります。

当社は、2022年9月に100周年を迎えますが、今後も東急線沿線の持続的な魅力向上を目指すとともに、自律分散型都市構造の考え方をベースとしたサステナブルなまちづくりを推進します。

詳細は別紙の通りです。



▲外観イメージ



▲2階カフェラウンジイメージ

以上

【別紙】

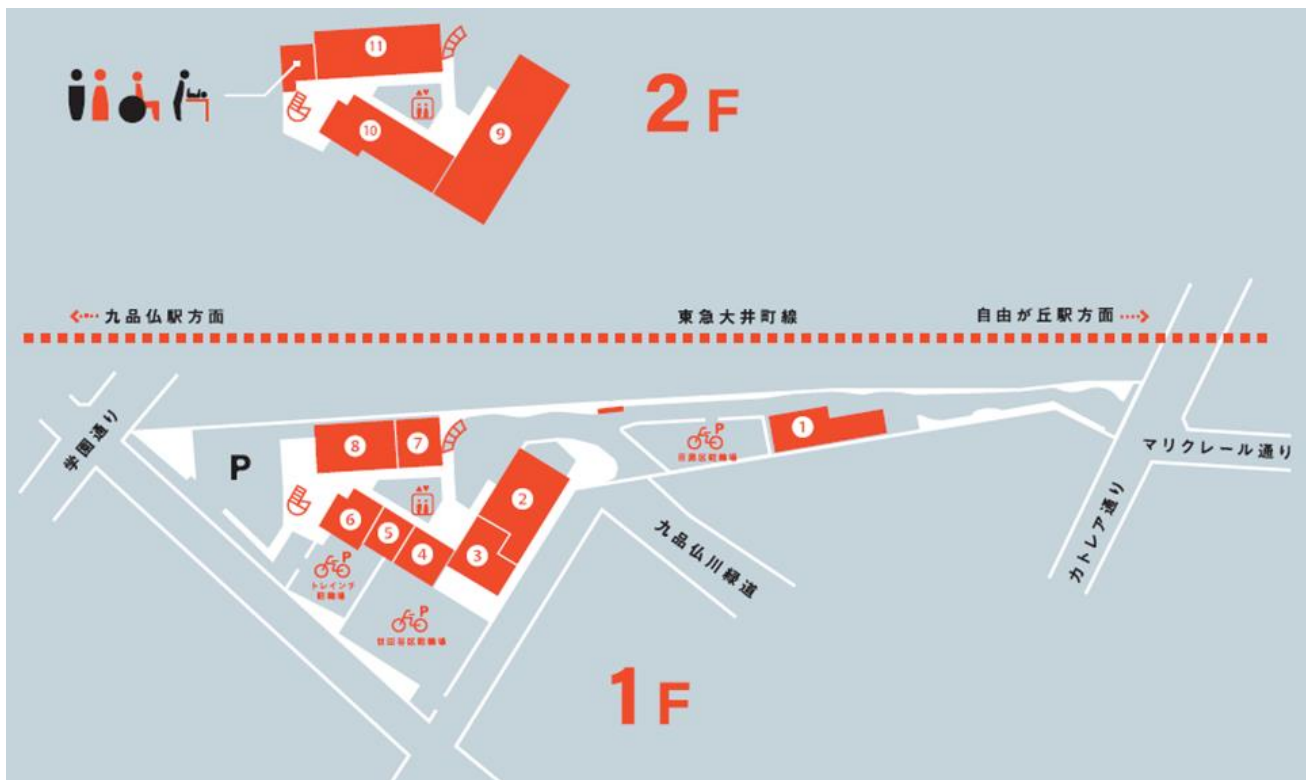
■物件概要

施設名称: トレインチ自由が丘
所在地: 東京都目黒区自由が丘二丁目13番1号
及び東京都世田谷区奥沢五丁目42番3号
アクセス: 東横線・大井町線 自由が丘駅 南口より徒歩2分
構造・規模: 鉄骨造2階建て
用途: 飲食店、食物販店、雑貨店、ラウンジなど
店舗数: 1階8店舗(うち新規開業4店舗)
延床面積: 1,048.94㎡
企画・設計: UDS株式会社
ランドスケープ: そら植物園株式会社
施工: 東急リニューアル株式会社
着工時期: 2022年7月19日
開業時期: 2022年11月
ホームページ: <https://www.trainchi.com/>



▲本施設ロゴ

■フロアマップ



■商業区画「OUTDOOR CO-LIVING」(1階)店舗一覧

※以下、通し番号は、フロアマップ内、各区画番号に対応しています。

【新規出店】

④Island Softcream(株式会社スーパートランプス)

全国各地の生産者から旬のフルーツを仕入れ、ソフトクリームにMix。品質に問題の無い型崩れ品などを積極的に使用してフードロスを減らし、島国・日本の新感覚の美味しさをお届けします。

業態 : ソフトクリーム、スイーツ

URL : <https://supertramps.jp/>



⑤yaoyano(株式会社natowa、商業テナントとして初出店)

外はカリッ、中はホクホク。八百屋ならではのこだわり野菜がたっぷり入った「揚げたてコロッケ」と、コロッケがひきたつように特別にブレンドしたクラフトコーラをご賞味ください。

業種 : 八百屋、デリ
URL : <https://yaoyano.com/>



⑥DUMBO Doughnuts and Coffee(株式会社インセプション)

一つ一つ手作りにこだわったニューヨークスタイルのドーナツと、ドーナツに合わせて厳選したコーヒーとの組合せをライフスタイルの一つとして提案するスペシャルティストアです。

業種 : ドーナツ、コーヒー
URL : <http://www.dumbodc.com/>



⑦THREE TEA CAFE(株式会社Tokyo Tea Trading、商業テナントとして初出店)

茶葉の魅力をすべての人に多彩な茶種の飲み比べや、厳選茶葉を使ったアイス、お茶の魅力を引き出すアフタヌーンティーなど、本格的なお茶体験を横断的なスタイルで提供します。

業種 : 喫茶、スイーツ、物販
URL : <https://threetea.com/>



【既存店】

① 浅野屋(株式会社浅野屋)

創業1933年、軽井沢旧道に本店のあるベーカリーです。店舗で焼き立てのパンを提供しています。イートインスペースでは電車を眺めながら焼き立てのパンを召し上がれます。

業種 : ベーカリー
URL : <https://b-asanoya.com/>



②③Osteria & Bar GONZO、酒場シナトラ(株式会社ジリオン)

■Osteria & Bar GONZO

一日を通して最高の窯焼きピッツァと旬食材のトラットリアメニュー、それぞれの時間限定スペシャルメニューとソムリエ厳選のワインが楽しめる本格イタリアンのALL DAY DINNING。

■酒場シナトラ

旬の鮮魚や野菜、黒毛和牛などの国産素材のもつ素晴らしさを活かした和食の数々を、果実を用いたサワー、唎酒師厳選の日本酒、豊富な焼酎と共に楽しめるクラシック&モダンな“酒場”。

業種 : Osteria & Bar GONZO:イタリアン
酒場シナトラ:和食居酒屋

URL : <https://www.bistro-jill.com/>



⑧NATURAL KITCHEN &(有限会社アミューズフル)

「あなたをおうち好きにするお店」NATURAL KITCHEN &。リニューアルオープンを記念してノベルティプレゼントイベントや特別な商品を販売します。

業種 : 生活雑貨
URL : <https://www.natural-kitchen.jp/>



■「(tefu)Jiyugaoka」(2階)※フロアマップ内、⑨～⑪区画に対応しています。

企画・設計・運営 : UDS株式会社

利用開始 : 2022年11月

エリア	プラン	座席数	利用料金	利用イメージ
オフィス・ レンタルスタジオ⑩	個室ブース (月額制)	9室	月額(1室):80,000円～	フリーランスや個人事業主向けの「個室ブース」と「固定デスク」。家の近くに仕事の拠点を構えたい方に最適なオフィスプランをご用意しています。また、気分を変えて仕事をしたい時などは、ラウンジを自由にご利用いただけます。
	固定デスク (月額制)	14席	月額(1席):60,000円～	
	レンタルスタジオ	1室	未定	ポップアップ店舗や展示会、ワークショップ利用など、幅広い用途でご利用いただけます。
ラウンジ⑨・ カフェラウンジ⑪	フリーアドレス (月額制、ドリンクサービス付)	118席 (予定)	未定	カフェラウンジスペース:友人との語りやちょっとした打ち合わせに。上質なハンドドリップコーヒーを提供するカフェを併設。
	フリーアドレス (ドロップイン、ドリンクサービス付)		未定	ラウンジスペース:集中して仕事をしたい時や読書を愉しむシーンでの利用を想定。開放的な空間でゆっくりとした時間が過ごせます。
ドリンクのみ⑨	カフェ利用	14席	ドリンク代のみ	「Raw Sugar Roast」ハンドドリップコーヒー、夜はクラフトビールや自然派ワインなどを提供

個室ブース・固定デスクお申込みURL: <https://www.te-fu.jp/jiyugaoka-open>

・UDS株式会社(リニューアル企画、(tefu)Jiyugaoka企画・設計・運営)

UDS株式会社は、事業性と社会性を実現するしくみ「システム」で都市を豊かに楽しくすることを目指し、国内外でまちづくりにつながる事業の企画、設計、店舗運営を手がけています。企画から設計、運営までを一連で手がける独自性に基づいた、コミュニティが生まれる場づくりを強みとしています。

日本のデザインホテルの先駆けとなった「CLASKA」などの不動産リノベーション事業や、子どもの職業体験施設「キッズニア東京」など、独自の仕組みをもつ施設の企画・設計・運営において多くの実績を有しています。

公式サイト: <https://uds-net.co.jp/> UDS Hotels: <https://www.uds-hotels.com/>



▲オフィスイメージ

・(tefu)プロジェクトについて

tefuプロジェクトは、空間やモノなどを「所有して価値を消費」するのではなく、「分かち合って、未来につなげていく」ことで手に入れる「自分らしい住まい方」をサポートすることを目指すプロジェクトです。「家具のシェアリングサービス」と「空間のシェアリングサービス」の2本軸で展開していきます。

tefuの名前は蝶の旧かなづかい「てふ」に由来しています。「蝶が羽ばたけば、はるか彼方で大きな風がふく」と言われるように、一人ひとりの小さな選択や行動(羽ばたき)は確実にまちに、そして社会につながり影響を与えていきます。UDSではtefuを通して、生活者同士がさまざまな価値を分かち合い、循環させ、深めながら、自分らしい住まい方、生活を実現していくための場やサービスを企画、設計、運営していきます。

(tefu)

ホームページ: <https://www.te-fu.jp> Instagram: <https://www.instagram.com/tefu.official/>

・Swim inc. (株式会社Swim/Raw Sugar Roast)(ラウンジ内カフェ運営)

2019年創業。長らく国内外で経験後、羽田空港近くで焙煎所を開設。焙煎コーヒー豆の卸を中心に、代々木上原「No.」や学芸大学「WR」などさまざまなお店の立ち上げや数多くのコーヒーディレクションに関わる。

コーヒーが持つあらゆる魅力を日常に埋め込む。地域や施設、カフェ、レストラン。バーや他業種の中でコーヒーの在り方を再構築。コーヒーがある事によりその場所の価値をより高められると考えています。また2022年春、世田谷区経堂にて旗艦店となる「Raw Sugar Roast」をオープン。「感動の体験を一杯のコーヒーで」をモットーにわざわざ訪れる価値がある体験を感じてもらいたいと願っています。

Instagram: https://www.instagram.com/rawsugar_roast/?igshid=YmMyMTA2M2Y%3D

ホームページ: <http://www.rawsugar-coffee.com>

■屋外ランドスケープ

自由が丘駅からのアプローチは四季さまざまな表情をみせるエゴノキでトンネルを創り出し、街の人々が「通る、通う」が楽しい日常ガーデンをコンセプトに設計しました。命を循環させることを大切なテーマの一つとし、2020年末に閉館した商業施設『代々木VILLAGE by kurkku』から計5本の樹木を移植しました。本施設のシンボルツリーであるレッドウッドも移植された樹の一つであり、シンボルツリーを中心とした多様性のある樹種の合間にはベンチが配置され、自然の光や風を感じながら、ゆったりとした時間をお過ごしいただけます。



▲自由が丘駅側入口 イメージ

・そら植物園株式会社(ランドスケープ)

そら植物園とは「ひとの心に植物を植える」をコンセプトにプラントハンター西畠清順が立ち上げた活動です。世界各国のランドスケープのデザインや造園工事など、各種緑化事業、イベントや撮影現場での空間演出など植物を届けることはもちろん、講演・執筆活動、植物にまつわるあらゆるアドバイザー業務など、企業や行政機関を中心にさまざまなクライアントから寄せられる多様な依頼を、これまでになかった切り口で次々と成功させています。

URL: <https://from-sora.com/>

西畠 清順(にしはた せいじゅん)プロフィール

21歳より日本各地・世界各国を旅してさまざまな植物を収集し、依頼に応じてコンセプトに見合う植物を届けるプラントハンターとしての活動をスタート。日本はもとより海外の植物園、政府機関、企業、貴族や王族などに届けている。

2012年、「ひとの心に植物を植える」活動・そら植物園を設立。植物に関するイベントや緑化事業など、国内外のプロジェクトを次々と成功させ、日本の植物界の革命児として反響を呼んでいる。著書に「教えてくれたのは、植物でした」(徳間書店)、「そらみみ植物園」(東京書籍)など。

Instagram: https://www.instagram.com/seijun_nishihata



【参考】

■「自律分散型都市構造」の考え方をベースとした当社の今後の取り組み

当社は、中期3か年経営計画(計画年度2021年～2023年度)において、従来型の「住まい＝郊外中心」、「オフィス・商業＝都心中心」という一軸構造ではなくなった現状を踏まえ、多様化・複層化するニーズを取り込み、各事業の成長につなげていきます。沿線拠点(交通結節駅などの周辺)においては、東急線沿線の象徴としてのエリアブランディング、複合施設の展開、職・住・遊の機能的配置と産・官・学の誘致による活性化を今後も積極的に行っていきます。

中期3か年経営計画: https://www.tokyu.co.jp/ir/manage/pdf/midplan_210517.pdf